

ものづくり最前線！！

2018年8月号

【今月のごあいさつ】

7月21日(土)・22日(日)・23(月)の3日間、ポートメッセ名古屋で行われた「2018 中部どてらい市」は、沢山の皆様にご来場いただき、無事に終わることができました。お忙し中、また今年は異常なまでの猛暑の中、お時間を作ってご来場していただき、誠にありがとうございました。今期で43回目となる中部どてらい市ですが、毎年テーマがあり、今年は「進め、限界その先へ！」と言うメインテーマで開催されました。各メーカーからは様々な次世代型新製品が展示され、その中でもロボットを使った自動化製品は目を見張るものがありました。今年は初めての7月開催でもあり、3日間ご来場者数は昨年より約2000名少ない9047名でしたが、ご成約金額は昨年より約20億増の136億3,408万円でした。ものづくりが堅調な中、私たちが時代に先を見据えて、お客様の生産性向上に取り組んでいます！



〈2018 中部どてらい市〉

【ものづくりピックス】 測定ソリューションフェア

9月4日(火)に株式会社ミットヨ 安城営業サービスセンターにて「測定ソリューションフェアINミットヨ」が行われます。今回の展示会ではミットヨだけでなく、レニショー、スリーアールソリューション、ナベヤ、ファム、大昭和精機と測定技術の粋を集めた5社も同時出展し、様々な先進測定技術・出品機種を体感できる機会となっています。また、測定技術を持ったメーカーの方によるセミナーも開催されます！(申込必須)測定工具の取り扱いや管理、選定、振動対策、生産性向上への計測システムの紹介といったセミナーが開催予定です。この展示会は、先進測定技術を身近に触れ、その技術の高さを実際に感じていただく良い機会です。ぜひご参加ください！

☆ご来場カードと名刺2枚が必要となります☆

【日時】 2018年9月4日(火)

10:00-17:30

【会場】 株式会社ミットヨ

安城営業サービスセンター

愛知県安城市住吉町5-19-5



【会社案内】 有限会社パール金属

2018年4月2日より、新本社オフィスにて営業を開始させていただきます。

新本社住所：名古屋市瑞穂区大喜新町二丁目28番

電話：052-693-5800 / FAX：052-693-5802

※電話・FAX番号変わります！

事業内容：機械工具・工作機械・工場用
設備用品、産業機器などの卸販売
分電盤・配電盤用のオリジナル鋳金部品の販売、環境設備商品の卸販売

お問合せ：info@pro-kogu.com

社長ホットライン：090-2928-3231

(お客様相談窓口：堀口)



【堀田ウォーカー】 ♪大香園(ダイコウエン)♪

今回ご紹介するお店は、名鉄堀田駅から徒歩5分の焼肉大香園さんです。7月の誕生日会をこちらで開催しました。焼肉では欠かせないロースやカルビは、黒毛和牛で柔らかくてとても美味しかったです。普段なかなか食べられないシャトーブリアンは口の中でとろけて、とても幸せなひと時でした。サイドメニューのテールスープも、とても食べやすい味付けです。他にもタンやホルモンなど、色々な種類のお肉が取り揃えられています。サイドメニューもビビンバやクッパなども充実しています。ぜひ一度足を運んでみてください♪

【住所・電話番号】

〒467-0827 愛知県名古屋市瑞穂区下坂町1-29

TEL：052-881-1488

【営業時間】

火曜～土曜 17:00～23:30

日曜 17:00～23:00

【定休日】 月曜日



【今月の売れ筋商品】 熱中症応急処置キット

～信州大学医学部附属病院 高度救命救急センター監修～
熱中症が起こりやすい今の時期に最適な、熱中症応急処置キットが発売されました！就業中に熱中症が原因で死に至る場合や、重症化する人は毎年全国で400人以上にも及びます。職業別だと製造業が、建設業に次いで死亡率・重症化率第2位。予防も大切ですが、熱中症を発症した際の的確な行動が死亡や重症化のリスクを低減すると言われていいます。そこで、熱中症応急処置キットは誰でも素早く的確に対応できるツールです！たたいてすぐ使える瞬間冷却材や、簡易体温計、エアクッション、うちわなど、誰でも簡単に使えるものが入っています♪バッグは持ち運びがしやすいショルダー式なので、外に出る時も持っていくことができ、大変便利です。

<商品名>

熱中症応急処置キット

<価格>

4980円(税別)



【歴史に学ぶ生き様】

ハンス・クリスチャン・アンデルセン

アンデルセンは「親指姫」や「マッチ売りの少女」などの作者で知られるデンマークの童話作家。彼は幼い頃から豊かな想像力を発揮し「天才」と称された。15歳の時にオペラ歌手になろうとしたが、製作した劇作や、歌などは認められず、オペラ歌手になることに失敗。その後はあらゆる苦境・挫折を繰り返し経験する。また困窮した生活であったため大学は、デンマーク王や政治家ヨナス・コリンの助力で、教育を受けさせてもらう。しかし文学的才能は、学長から嘲笑されたりしたためヨナス・コリンは彼に個人授業を受けさせる。たびたびの失敗や挫折を経験していたアンデルセンだったが「人はどんな高いところでも登ることができる。しかし、それには決意と自信がなければならぬ」という言葉を残している。挫折をしても何度も諦めず、学び続け、生涯にわたって童話を書き続けたからこそ、誰もが知る大作家へと出世した。そんな彼の功績を称える意味も込め、1956年に国際児童図書評議会によって『国際アンデルセン賞』が設立された。

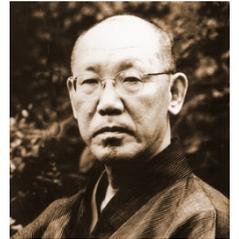


【今月のビジネスコラム】

(有)がんばれ社長：武沢信行氏

『骨力(こつりよく)ある人をめざそう』

安岡正篤師



思想家の安岡正篤師は「男性には骨力が必要」と説いた。それは「千万人を敵とする心」であり、同時に「人生の矛盾を變理(しょうり)する力」でもあるという。變理とは、やわらげおさめることをいう。千万人を敵として向かっていく心がある人が、初めて千万人を救えるのだ。戦う時には断固戦う。徹底的にやる。だがそれは自己都合で戦うのではなく、誰かを助けるために戦う。しかも敵が降伏したらサッサと降伏を受け入れる。鬼と仏を自在にあやつることができねばならない。もともと世の中は複雑で、たくさんの矛盾から成り立っている。矛盾をありのまま受け入れ、そのことに平然としていられる精神的寛容さも必要となる。「骨力」と似た言葉に「気骨がある」というのがある。自説を曲げない強さをいう。行き過ぎると頑固になる。だが「骨力がある」というのは正義のために愛をもって戦うことを意味する。行き過ぎはない。私たちは気骨があるだけでなく、骨力のある人をめざそうではないか。

【社員の声】

早川静夏(2018年4月入社)

4月に入社しました早川静夏と申します。入社してから早いもので5ヶ月が経ちました。商品知識は勿論、社会人としてのマナーなど学ぶことが多い毎日です。学生の時は、ものづくりの現場に入るなど無かったので、実際にお客様に訪問すると、新しい発見が多くとても楽しいです。そして、ものづくりは、日々の生活とすごく密接した関係だと学ぶこともできました。毎日が初めての連続で、あっという間の日々です。一日一日を大切にしなければと改めて実感しています。私は主に、営業と事務をしています。7月頃に同期の田邊と2人で外回りを始め、最近では1人でも外回りするようになりました！お客様から「1人で回り始めたね」「頑張ってるね」など沢山の優しいお言葉をかけていただいています。毎日覚えることが多い中、その一言にとっても支えられています。またお客様の経験等、色々なお話をしていただける時もあり、大変嬉しく思います。ありがとうございます。今後も外回りでは、お客様と沢山のコミュニケーションを図りたいと思います！まだまだ至らない点多々ありますが、宜しく願いいたします。先輩方の背中を見て、日々精進していきます！